水道料金の引き上げ（33.66％増）反対

日本共産党　戸田市議会議員
むとう葉子

物価が高騰してる中、どうして??

戸田市の水道料金は埼玉県内で一番安く、市民に大変、喜ばれていました。

しかし戸田市は、「令和７年度から水道料金の引き上げが必要」と、９月議会に提案。日本共産党以外の議員の賛成で、９月２５日議会最終日に可決されてしまいました。

水道管の老朽化の問題は以前から全国的に取りざたされていましたが、今回の能登半島地震で問題が顕著になりました。戸田市でも水道管の老朽化が進み、改修工事や耐震化も必要です。水質管理も求められる一方、節水機能が備わっている洗濯機や食洗器など環境家電の普及で水道料金の収入は減っており、必要な工事が困難になってくるなどと課題を説明されると、「値上げも、仕方ないか。」となってしまいそうですが果たしてそうでしょうか。

そもそも「水道事業」とは

美味しい水を飲むために、浄水器を付けたり、ペットボトルで購入する方も多いでしょう。しかし水は朝起きてから寝るまで生活のすべてに使用されています。ここでペットボトルの水と水道水を同じに考えてはいけません。何故なら、水道水は公衆衛生を守るための水、「命を守る水」として、行政が責任をもって提供しなければならないからです。

埼玉県の県水シンポジウムへ参加

「安全な水は公衆衛生の向上を目的とした国民の権利」憲法第２５条２項には「国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」とあります。水道法には「水道の基盤を強化することによって水質の安全と質の向上、必要な時に必要な人に行き渡るように安価に提供し、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することが目的」とあります。

しかし、国は各自治体へ水道ビジョンの策定を押し付け、独立採算とした結果、水道管工事も含めた計算が行われて大幅な水道料金の引き上げが必要な仕組みになっています。

「県水」とは「県営水道」のこと、全県に供給。市町村の水道事業では、「県水」から水道水を購入し、独自の地下水などと合わせて水道水を給水している。

「国から言われたから仕方ない」では済まされない

市民が声を挙げ、国や県、自治体に水道事業を守れという意見を届ける事が大切だと思います。戸田市でも３３．６６％の値上げに留まらず、将来６１％まで値上げすることが示されています。国は工事費用の補助を増やすこと、自治体は一般会計からの繰り入れを行い、安全で低廉な水を市民に提供することを求めていきましょう。是非、ご一緒に！！

日本共産党
東部地域後援会ニュース（号外）

発行　日本共産党東部地域後援会
戸田市下前１丁目 10-35　戸田市委員会事務所内
むとう葉子市議ホームページ
HP：http://www.mutou-youko.com /
E-mail：i19414034@gmail.com
TEL/FAX：442-3599

部内資料

政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日刊紙 3,497円
日曜版 990円